

多摩川エコモーション 第19回 連続公開講演会

「劇場づくり」で育む地域のきずなと文化～NPO現代座によるうたと朗読

ふるさと  
遠い空の下のご郷  
～ハンセン病療養所に生きて～

劇場づくりと演劇を通じて地域のきずなと文化を育む市民団体として、小金井市を拠点に活動するNPO 現代座。今回は、この現代座の方々をお招きし、ハンセン病を主題にしたうたと朗読を上演していただきます。上演後は、公演の感想やこれからの社会のあり方などについて、現代座のみなさんとともに語り合う場も設けます。学芸大生はもとより、地域のみなさまも、どうぞご参加ください。

「あの歌ごえを聞くと、いまでもひたすら母と共に働き、一家を支えたころの故郷の森や川がはっきり見えるんですよ」と懐かしそうに語るトキさんは、五十代で失明し、はや八十の坂を越えている。

「高い塀に囲まれた療養所の中で過ごした五十年は、母の面影が支えてくれました」とほほえむトモコさん。小さな薄むらさきの野菊が咲きはじめると母を思い、梅が咲き始めると母と別れた夜の冬の星座を思い出すという。

過酷な半生を淡々と語る彼女たちの表情は、なぜあのようにやさしく、美しいのだろう。そしてこの強さはどのようにして生まれたのだろう。

彼女たちの語る遠いふるさとの空、こころの歌ごえは、わたしたちの胸に忘れてしまっていた人間の優しさと強さを呼び起こしてくれる。

作 木村 快／音楽 岡田京子／朗読 木下美智子・真知尚子／演奏 吉野由美子



●と き 2008年 7月23日 (水)  
開場14:00 開演14:30 ～ 17:30 終了

●ところ 東京学芸大学 小金井キャンパス  
小金井クラブ 1階 ホール  
(正門より左へ徒歩3分/地図裏面)

●プログラム

14:00	開場
14:30	挨拶／多摩川エコモーションの紹介
14:35	NPO 現代座／役者のご紹介
14:45	「遠い空の下のご郷」公演
16:15	懇親会
17:30	終了

●参加費 無料

●定員 60名 (会場の都合上、できるだけ事前にお申し込みの上お越しください。申込み方法は裏面をご覧ください。)

NPO現代座からのメッセージ

私たちは、7年前から熊本県菊池恵楓園、鹿児島県の星塚敬愛園に暮らす元ハンセン病患者さんたちと交流を重ねています。そこで暮らす人たちの生きてきた道のりを知ったときには、大変衝撃を受けました。

彼女たちの想像もつかないほどの過酷な人生を聞く中で、一番感じたことは人間が本来持っている強さと愛情です。

故郷の自然や家族に対する愛は、辛い時こそ強くもとめるものなのかもしれません。

遠く離れたふるさとを思いうたを交えて2人の女性の歩いてきた道のりを朗読にしました。